

Jabber for Windows Phone 専用モード機能の概要とインストール ヒント

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[電話専用モードの機能概要](#)

[電話専用モードでの Jabber for Windows の導入](#)

[電話専用モードの検証](#)

[接続設定の目視検査](#)

[Jabber 問題レポートのログの検索](#)

[完全な UC IM and Presence の Jabber への復元](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Jabber for Windows バージョン 9.2.1 で新しく導入された電話専用モードの概要を説明し、電話専用モードでクライアントを導入するための設定手順を説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Jabber for Windows
- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)
- Cisco Unified Presence Server (CUPS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Jabber for Windows バージョン 9.2.1 に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

電話専用モードの機能概要

Cisco Jabber for Windows バージョン 9.2.1 では、クライアントを電話専用モードで導入できるようになっています。この場合、クライアント認証は直接 CUCM で行われます。このモードでは、プレゼンスやインスタントメッセージ (IM) の機能を使用せずに、音声機能またはビデオ機能を使用してプロビジョニングします。したがって、電話専用モードの Jabber クライアントを導入するタイミングを決定し、影響を受ける機能および完全な IM 機能を復元するために使用するプロセスを理解することが重要です。

注：Jabber for Windows バージョン 9.2(2) 以降では、会議の統合は電話専用モードでサポートされません。

電話専用モードでの Jabber for Windows の導入

Jabber for Windows を電話専用モードで導入するには、以下の CLI コマンドでブートストラップを使用してインストールする必要があります。

- **オンプレミス展開**

```
msiexec.exe /i CiscoJabberSetup.msi CLEAR=1  
PRODUCT_MODE=Phone_Mode TFTP=1.2.3.4 LANGUAGE=1033 /quiet
```

- **クラウドベース展開**

```
msiexec.exe /i CiscoJabberSetup.msi CLEAR=1  
TYPE=WebEx SSO_ORG_DOMAIN=domain.com /quiet
```

留意すべき重要な注意点は、次のとおりです。

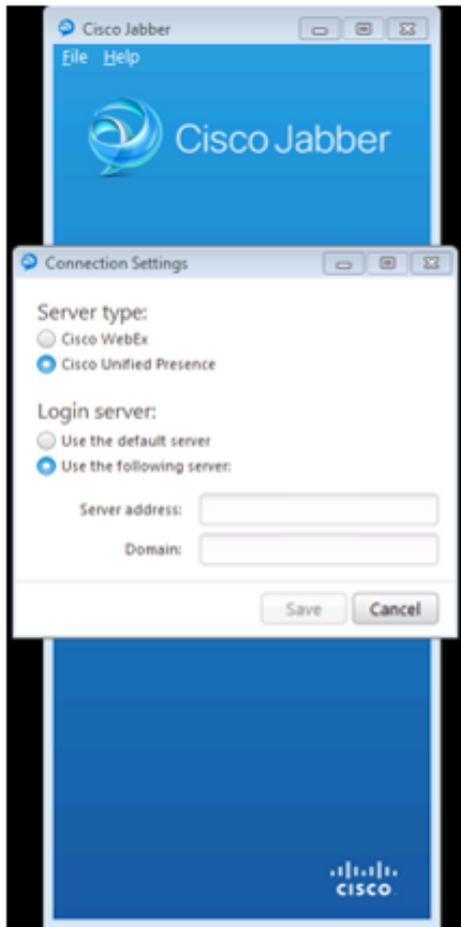
- **CLEAR=1**：既存のブートストラップ ファイルをすべて削除します。
- **TYPE=WebEx**：Cisco Webex Messenger をプレゼンス サーバとして指定します。
- **SSO_ORG_DOMAIN=domain.comdomain.com** をシングル サインオン (SSO) のドメイン名として指定します。
- **/quiet**：サイレント インストールを指定します。

ヒント：導入の際に使用するインストール コマンドの詳細については、『[Cisco Jabber for Windows 9.2.x Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

電話専用モードの検証

Jabber for Windows が現在電話専用モードで導入されているかどうかを確認するには、接続設定を目視検査する、または Jabber 問題レポートのログを検索するという 2 つの方法を使用できます。

接続設定の目視検査



Full UC IM and Presence

VS



Phone Mode Only

左側の図では、Jabber は完全な Unified Communications (UC) IM and Presence モードになっています。[Server type]を選択して、サーバのログイン情報を入力できます。

右側の図では、Jabber は電話専用モードになっていて、[Phone settings]のみが使用可能です。

Jabber 問題レポートのログの検索

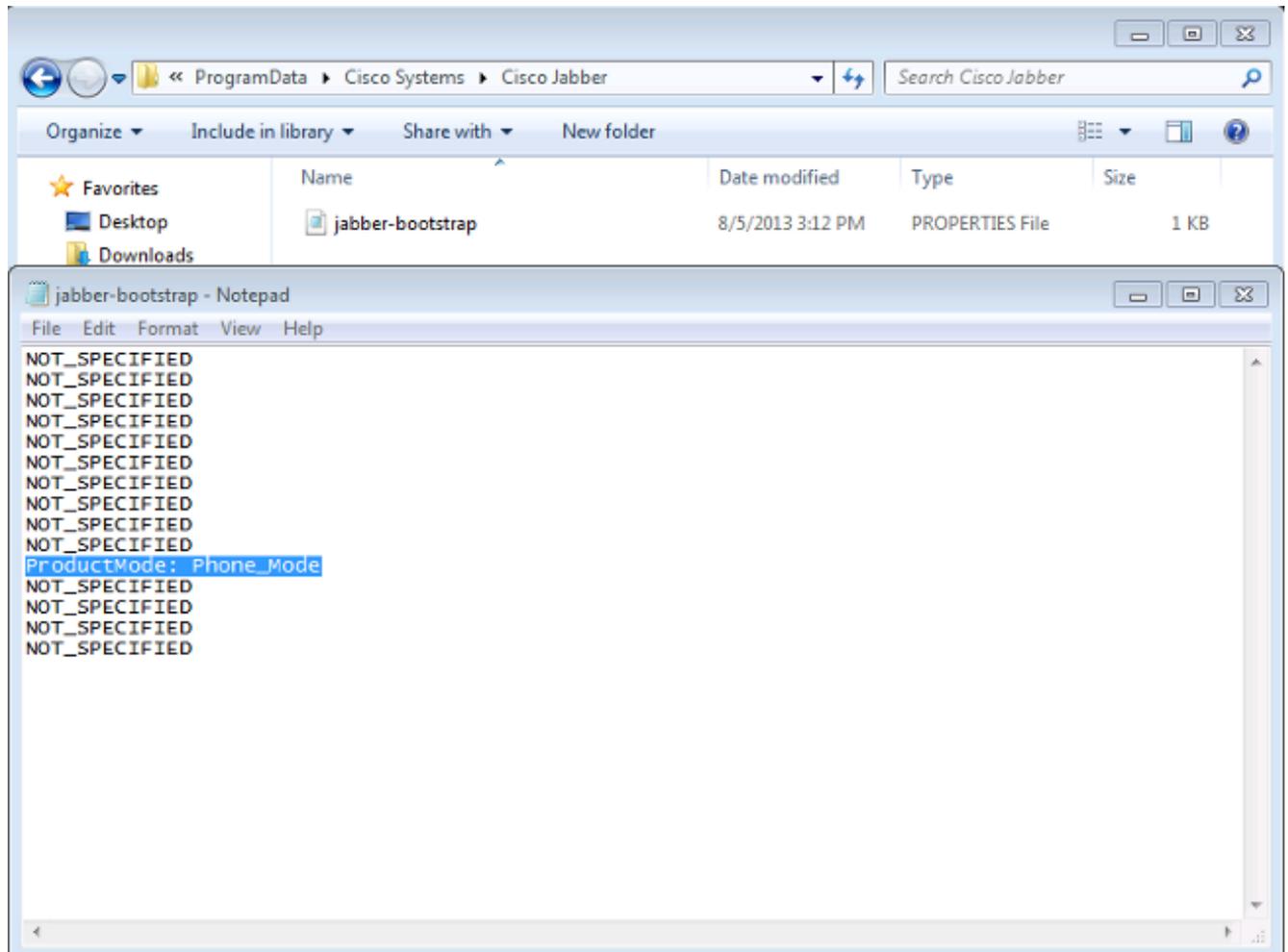
```
[ConfigServiceImpl::createConfig] - createConfig key : [NOT_SPECIFIED] value : [] originalValue : [] isOverriden : [0]
e] [BootstrapConfigStore::getValueFromMap] - Key: [ProductMode] found with value [Phone_Mode] in config store: [bootstrapConfigStore]
[ConfigStoreManager::getValue] - key : [ProductMode] skipLocal : [0] value: [Phone_Mode] success: [true] configStoreName: [bootstrap
e] [BootstrapConfigStore::getValueFromMap] - Key: [ProductMode] found with value [Phone_Mode] in config store: [bootstrapConfigStore]
```

問題レポートのログを検索すると、Phone_Mode の値が ProductMode に設定されているブートストラップファイルが見つかります。これは、クライアントが電話専用モードでオンラインになることを意味します。

完全な UC IM and Presence の Jabber への復元

完全な UC IM and Presence を Jabber for Windows に復元するには、以下の手順に従います。

1. [Windows]> [Cisco Systems] > [Cisco Jabber] の順に選択します。
2. [ProgramData]フォルダを開きます。
3. メモ帳で jabber-bootstrap ファイルを開きます。
4. ProductMode:Phone_Mode の行を削除し、ファイルを保存します。



5. システムを終了し、クライアントを再起動します。これで、Jabber for Windows は完全な UC IM and Presence モードになります。

注：電話専用モードの詳細については、[Cisco Jabber for Windows 9.2.1 リリースノート](#)を参照してください。